

医師・勤務助産師・開業助産師の

理想的な「連携」を求めて

周産期医療の提供体制が危機的な状況にあるいま、助産外来や院内助産所、オープンシステムなど、「連携」が鍵となる対応策に関心が集まっています。医師・勤務助産師・開業助産師がフルにその力を発揮するには、やはり「連携」が欠かせないということでもあります。

施設の特性や職種が異なれば「ものの見方」も微妙に異なるものですが、目指すところは共通しているはずです。異なる信念をもつ集団が、互いの違いを魅力的に捉えながら将来像を描く、その信頼関係づくりの具体策を本特集で考えます。